



やらまいか

例会日 / 毎週火曜日 12:30 例会場 / 豊川商工会議所 会長 / 夏目雅康 幹事 / 高桑 耐 会報委員長 / 鈴木啓仁
 事務局 / 豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 0533-86-2535 Fax0533-86-8889 H P / <http://toyokawahoi.tank.jp>

クラブテーマ：有意義で楽しいクラブ活動・例会を考えよう

本年度第40回 通算1202回 平成23年5月10日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	4/19 修正出席率
		58名	37名	67.3%	90.6%

ゲスト:(なし) ビジター:(なし)

会長挨拶及び報告

夏目雅康会長

卓話「東日本大震災の復興支援」



こんにちは。連休はどのように過ごされましたか。震災による自粛ムードで静かな連休になるような事前の報道がありました。高

速道路は、最後の1000円ETCということもあり、連日、例年通りの渋滞だったようです。私は、今年も、作手に田植えの手伝いに行ってきました。慣れない事をするので、体中が痛い。山菜を取って晩酌をするといった時間も過ごしました。今年は、季節がいつもより1~2週間遅いみたいで、溪流釣りに行っても魚が小さいです。山菜も少し小さかったです。ご存知のように東日本大震災の影響による節電、そして浜岡原発の全面停止による、この地域の節電もあります。今年の夏も暑くなるという予想が出ています。どんなふうに世の中が変わっていくのか予測もつきません。ですが、自分たちの今出来ることを頑張っていきましょう。

今週のボイスオブグッドは、「貧富は充足を知ると知らざるとによる」清沢満之さんの言葉です。

幹事報告

高桑 耐幹事

理事会報告

例会臨時変更のお知らせ
次回例会について

委員会報告

親睦委員会(林委員長)

春の行楽について

次年度親睦委員会(樺山委員長)

次年度委員会の開催について

近藤哲司会員



こんにちは。この度の震災で東北に2回行ってきました。1回目は、地震から10日目の3月21日に行きました。

行く3日前に宮城と岩手の県警に連絡を取りまして、「当社にマスクが90万枚、遺体袋が1000枚ありますので届けます」と連絡をしたら、遺体袋がまったく足りないということでした。岩手が5000枚、宮城が5000枚ほしいと連絡来て、急遽、遺体袋を上海から5000枚取り寄せ、マスク90万枚、遺体袋6000枚を10t車に積んで、第1便として21日に出発しました。行く前に豊川警察署に行って「緊急支援物資輸送」の紙をもらって車に貼って行きましたから、道も通れるし、ガソリンも給油できました。

宮城に遺体袋3000枚、岩手に遺体袋3000枚、マスク90万枚を置いて、岩手県宮古市に入りました。宮古市は、私の家内の実家があり、親戚もみんな漁師ですので、今回すぐに駆けつけました。沖に逃げて船は助かりましたが、港が壊滅的で、船を岸壁に付けることも出来ない状態になっていました。

寝袋と食料を持参して宮古市に入ったのですが、遺体の回収がまだ始まっていませんでした。ガレキを片付けて道を作る、被災者に食料を届けるといった、生きている人を助けることで、行政、警察、消防、自衛隊すべてが掛かりっきりでした。遺体回収は、その後

から、ガレキの中の遺体から回収して、津波で泥だらけの体育館の床にブルーシートや毛布が掛けられて置いてある状態でした。もって行った遺体袋は、津波に流され海の中で見つかった方々を回収するために必要だったんです。遺体の回収は、すべて自衛隊の方々が行われていました。我々のような葬儀屋など一般人には手伝わせてもらえませんでした。遺体袋は、私たちが届けた翌日には、各地の警察に配布されていました。私たちが目の当たりにしたのは、想像を絶するご遺体でした。

職業柄、ご遺体を綺麗にしてあげたいと思って、その道具も持っていきましたが、それすらも出来ない状態でした。ほとんどのご遺体は、腐敗した臭いではなく、泥と塩水がかぶった臭いでした。私たちが行った時の気温はマイナス4度でしたから、ご遺体が傷むことはなかったのです。幸いに宮古市は、火葬場の釜が動いていましたので、火葬する事が出来ていました。小さな市町村では、火葬が出来ない、ガソリンがないなどの理由から、被災地では葬式がない状態でした。葬式をしても、ガソリンがないから、葬式に来る人がいないからです。全国から棺が届く訳ですが、その棺を組み立てる人がいないのです。次には骨壺が足りない。水道がでないから、ご遺体を洗ってあげることもできない。きれいな着物に着せ替えることもできない。そのまま遺体袋に入れて安置所に置いてある状態です。遺体袋の上に紙に番号が書いてあり、遺体の特徴が書いた紙と共に遺留品が置いてあり、家族を探しに来た人たちの要望により、警察官が遺体袋の開け閉めをしていました。この対応をしていたのは、各地からの応援の警察官でした。地元の警察官は、被災地の治安維持のためにパトロールをされていました。

今回、行って初めてわかったのですが、身元のわからないご遺体の火葬は行政がやってくれます。身元がわかった人は、家族が葬儀社に連絡をして、自分たちで費用を出して火葬をしてもらう。行政がやってくれるのは、身元のわからない人だけです。家も流され着の身着のままでも、費用は自分たちで負担をするという現実を知りました。これは、この地域で、予想されている東海・東南海地震などの大震災が発生した場合でも同じなのです。今回、当社が持っていた遺体袋1000枚は、予想される東南海地震が発生した場合、東三河で1000人と予想して備蓄していました。

一般社団法人全国遺体保全協会を平成22年3月に設立しました。これは、東海・東南海地震が発生した場合の遺体の安置所に当社の葬儀場を貸して欲しいと自治体から要請があったことから始まりました。停電などにより通常ではない状態での遺体安置は大変であることに気づきました。すぐに中国に足を運んで遺体保全の研究を重ねて、遺体に防腐防止液を注入して保全措置をするための協会を設立しました。目的や活動は、大災害時における自治体への遺体保全に関連する技術資材協力及び自治体への応援の全国体制ネットワークづくりです。今回の震災で新たな課題が出てきましたので、今後も研究を続けていきます。

被災地では、少しずつ復興が進んでいますが、ゴミの問題が山積んでいます。これから梅雨に入り、津波のかぶったガレキの悪臭は大変なことになってくると思います。まだまだ復興するまでに様々な問題が出てくると思います。一日も早い復興を願っています。ご静聴ありがとうございました。

ゴルフ同好会コンペ

第5回同好会コンペ結果

優勝	大岩一仁	Gross77	Hdcp7	Net70
準優勝	山本章吾	Gross83	Hdcp10	Net73
3位	森下武治	Gross83	Hdcp9	Net74
ニアピン	高桑 水野 来山 夏目			
ドラコン	来山 森下			



ニコニコボックス

近藤哲司会員	本日卓話をさせていただきます
大岩一仁会員	同好会コンペで優勝して
堀田卓嗣会員	父の葬儀にはお世話になり
井指光基会員	誕生日を祝って頂き
小野喜明会員	〃
柴田 勝会員	〃
山田久就会員	〃
波多野四郎会員	〃
細井 勉会員	結婚記念日を祝って頂き
伊藤靖彦会員	〃
水野太一会員	事業所創業を祝って頂き
度会尚志会員	入会記念日を祝って頂き

会報担当者：鈴木啓仁会員、土井昌司会員

このウィークリーは再生紙を使用しています。